

(5) 定点把握対象五類感染症の感染症別報告状況

ア インフルエンザ定点

平成29年は年間報告数15,552例、年間定点当たり報告数225.39、年間定点当たり報告数の過去5年平均値(平成24年から平成28年まで。以下同じ。)との比0.96、前年比0.85であった。

月別定点当たり報告数では、1月(100.48)、2月(61.90)が多く、5月～11月の報告数は少なかった。

年齢階級別では、5～9歳(23.5%)が最も多く、次いで0～4歳(19.3%)、10～14歳(14.8%)の順となり、14歳以下が全体の57.6%を占めた。

